

— 2年ぶりに開催された花巻市成人式
(1月8日 花巻市総合体育館アネックス)

おくじ

- 2 正副議長選挙
- 3 12月定例会概要・議案審議質疑
- 6 一般質問
- 11 臨時会概要
- 12 高校生議会
- 15 常任委員会等の活動報告
- 16 ちよつと一言、編集後記ほか

はなまき市議会だよ！

花の風

第69号

令和4年2月1日

議案審議

岩手県内の消防指令業務を共同運用

いわて消防通信指令事務

令和3年第4回花巻市議会定例会は12月3日開会、16日までの14日間の日程で開かれました。一般質問は12月6日から8日まで3日間、12人の議員が登壇し市の考えをたえました。また、9日には議案審議を行い花巻市手数料条例など条例の一部を改正する条例や、いわて消防通信指令事務協議会の設置の協議に関し議決を求める議案、市の施設の指定管理者の指定、令和3年度花巻市一般会計補正予算(第12号)など12議案を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。また、16日の最終日に一般会計補正予算(第13号)が追加提案され、原案のとおり可決しました。

一般会計補正予算(第12号)は、新型コロナウイルス感染症対策として中小企業持続支援事業に6498万5千円が追加されたほか、コロナ禍による事業中止等で減額整理されました。主な可決議案や質疑は、次のとおりです。

いわて消防通信指令事務協議会の設置の協議に関し議決を求めることについて

可決

要旨・・・花巻市、遠野市および陸前高田市ならびに盛岡地区広域消防組合、宮古地区広域行政組合、釜石大槌地区行政事務組合、奥州金ヶ崎行政事務組合、北上地区消防組合および二戸地区広域行政事務組合ならびに久慈広域連合の消防通信指令に関する事務を共同して管理および執行するため、規約を定め、いわて消防通信指令事務協議会を設置することの協議に関し議会の議決を求めるもの。

質疑

○質問・・・花巻市が協議の場に入ることの条件として、無線によるバックアップ体制が確保されること、リアルタイムの通話による心肺蘇生の口頭指導を行うことの2点の説明があった。これが盛り込まれない場合、協議から離脱するという理解でよろしいか伺う。

答弁・・・市が共同運用に係る法定協議会へ参加する条件について、推進委員会で協議させていただいたが、ほかの消防本部から異論は出されなかった。盛岡消防本部庁舎へのアンテナ整備も了承を得ている。このことから、共同運用の協議会参加の条件は整っているが、万一満たされない場合は市民サービスの低下が懸念されるため、離脱もやむを得ないものと考えている。

○質問・・・災害の多発、広域の災害が起こった場合、実施計画では基本的に災害現場は各消防本部の対応となっている。協議会へ市から4人を派遣するとしているが、人員不足にならないか伺う。

答弁・・・現在、消防本部での通信指令は8人体制だが、4人を派遣することで自主的に部隊運用と消防団対応にそれぞれ1人残る。現場対応も148人から151人と3人増員を認めていただいたので、151人体制で現場対応に支障が出ないように努める。

第7回花巻市議会臨時会

正副議長を選出



第7回花巻市議会臨時会が令和3年10月25日、開かれました。臨時会では、前議長が議員辞職したことに伴い議長が空席となっていたため、最初に議長の選挙を行いました。議長に志願した議員は藤原晶幸副議長のみであり投票の結果、議員25人(欠員1)中、25票を獲得し議長に当選しました。これに伴い副議長が空席となったため、引き続き副議長選挙を実施。副議長候補者は本館憲一議員のみであり投票の結果、本館憲一議員が23票を獲得(白票2票)し、副議長に当選しました。議長と副議長選挙の投票前に、花巻市議会基本条例に基づき、藤原晶幸副議長と本館憲一議員がそれぞれ所信の表明を行い、就任への意欲と抱負を述べました。



副議長

もと だて けん いち
本 館 憲 一



議長

ふじ わら しゅう こう
藤 原 晶 幸

議長就任あいさつ

藤原晶幸

議長選挙におきまして、市議会議長の職を務めさせていただくことになりました。身に余る光栄に存じますとともに、職責の重さに身の引き締まる思いでございます。

もとより、微力ではございますが、円滑な議事運営と、さらなる花巻市の発展、そして、市民福祉の向上に新たな決意と情熱を持って誠心誠意努力してまいる所存でございます。

今後とも皆様方のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさついたします。

賛否が分かれた陳情の審議結果

陳情 6		社会教育主事の設置及び生涯学習部の教育委員会事務局への移行を求めることについて（以下の2項目について項目ごとに採決）
	項目 1	社会教育法に基づき花巻市教育委員会事務局に社会教育主事を設置すること
	項目 2	生涯学習部を市長部局から教育委員会事務局へ移行すること

会派名		市民クラブ							明 和 会			花巻クラブ			平和環境 市民クラブ		日本共産党花巻 市議会議員団		会派に所属 しない			審議結果				
議員名		横田 忍	佐藤 現	伊藤盛 幸	高橋 修	瀬川義 光	内館桂	鎌田幸 也	佐藤峰 樹	盛岡耕 市	藤原伸	伊藤源 康	羽山る み子	佐藤明	本館憲 一	近村晴 男	照井省 三	若柳良 明	阿部一 男	久保田 彰孝	照井明 子		櫻井肇	菅原ゆ かり	藤井幸 介	大原健
陳情 6	項目 1	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	欠	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	不採択
	項目 2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	欠	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	不採択

○は賛成、●は反対、欠は欠席。議長は表決に加わりません。

※意見書全文は市ホームページに掲載しています

補聴器がさらに普及することにより、高齢になっても生活の質を落とさず、心身ともに健やかに過ごすことができれば、認知症の予防、健康寿命の延伸、ひいては医療費の抑制にもつながります。よって、加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的支援制度を創設するよう要望します。

加齢性難聴は、コミュニケーションを困難にするなど日常生活を不便にし、生活の質を落とす大きな原因となるばかりか、最近では鬱病や認知症の危険因子になることも指摘されています。この聞こえの悪さを克服し、音や言葉を聞き取れるようにし、日常生活を快適に過ごせるよう補完するのが補聴器です。

日本では両耳70デシベル以上の高度・重度難聴者に対し補装具費支給制度により負担が軽減されているものの、その対象者はわずかであり、ほとんどの人が全額自己負担で購入していることから、特に低所得の高齢者に対する配慮が求められます。

加齢性難聴者の補聴器購入に対する
公的支援制度の創設を求める意見書

意見書を提出

指定管理者の指定に関し議決を求めることについて

可決

要旨・・・花巻市定住交流センター（なはんプラザ）、花巻市花巻駅前多目的広場、花巻市花巻駅南駐車場の3施設を2年間、株式会社元來社へ。花巻市営住宅等を5年間、株式会社寿広へ。石鳥谷総合物産センター（酒匠館、りんどう亭）を1年間、株式会社石鳥谷観光物産へそれぞれ指定管理者として指定するもの。

質 疑

- 質問**・・・指定期間について、花巻駅前の3つの施設を元來社に2年間、ほかの施設は5年間ということだが、2年間とした理由を伺う。
- 答弁**・・・市の指定管理の指針では5年間が一般的な例であるが、駅周辺の3つの施設を2年間としたのはＪＲ花巻駅東西自由通路（駅橋上化）を整備するということが認められた場合、ＪＲ花巻駅東西自由通路（駅橋上化）を建設するに当たって3つの施設への影響が考えられることから、まずは2年間としたもの。

令和3年度花巻市一般会計補正予算（第12号）

可決

要旨・・・歳入歳出予算にそれぞれ6,066万4千円を追加し歳入歳出総額を526億5,873万円とするもの。職員人件費の整理のほか、中小企業持続支援事業、小・中学校教育環境充実事業等に係る歳入歳出予算の補正など。

質 疑

- 質問**・・・振興センター等整備事業費の811万4千円の内容について伺う。
- 答弁**・・・宮野目振興センターで消防設備点検の際、これまで認識していた構造と違うのではないかとこの疑義が生じたことから確認したところ、同センターは昭和53年に鉄筋コンクリート造りで整備した建物で、翌年に一部増築した部分が木造と認識されていなかった。木造の場合、新たな消防設備が必要となることから今回措置したもの。
- 質問**・・・世界規模で半導体が不足していることにより、製造業の方から、「注文は受けるが部品が足りなくて作れない。作っても売れない状況で厳しい」という声を聞く。国、県、市で無担保、無利子の融資などがあつたと思うが、今回の補正で検討したかどうか伺う。
- 答弁**・・・コロナ禍で主に国、県で無利子などの融資が継続して行われている。原油価格高騰に起因する融資もある。県の融資制度に対し、市で利子補給等も行っている。令和3年3月に制度を創設したが、市単独の制度よりも事業者の負担が少ない県の制度を利用している。この制度は借り入れが好調で補正予算措置も行っている。

Q 藤井幸介 議員
大手紙おむつ等製造メーカーによって使用済み紙おむつのリサイクルが可能となっているが、

温暖化対策

A 市長
再生可能エネルギーの導入に当たって自然環境や周辺環境との調和が図られることが前提。条例素案に罰則規定を設けることを想定し、地方検察庁と協議している。しかし、令和3年5月、国は地球温暖化対策推進法の改正を行ったことから、国・県の動向を注視し、条例案の修正が必要かどうか検討したい。

メガソーラー

Q 久保田彰孝 議員
メガソーラー設置の規制に関する条例制定の進捗状況について伺う。

リサイクルに取り組む考えはないか伺う。

A 市長
市では現在、使用済み紙おむつを焼却処理している。リサイクルはごみの減量化に寄与するものであるが、処理施設が近隣にないことや分別に係る市民の負担増など課題が多い。今後は環境省が主催するオンライン研修会への参加や先進事例なども参考に研究していく。

消防団

Q 藤原 伸 議員
機能別消防団員の活動実態は、花巻市消防団機能別消防団員活動要綱に沿ったものであるか伺う。

A 市長
花巻市消防団機能別消防団員活動要綱では、災害現場における消火活



2年ぶりに団員が出席して開催された花巻市消防出初式（1月9日）

Q 藤原 伸 議員
経験豊富で熟練者が多い機能別消防団員の、毎年の訓練の必要性について伺う。

A 市長
これまでに培われた知識や経験が豊富であって

も、技能や体力を維持するためには各種訓練が必要不可欠であることから参加いただいている。その際には、若手消防団員への育成指導者としても活躍いただいている。市としても消防団活動とその運営に対し引き続き支援し、地域の防災力の強化に努めていく。

債権管理

Q 佐藤 現 議員
監査委員から、「収入未済額の解消と不納欠損処分」の仕組みを整備された」との指摘があるが、市当局の対応について伺う。

A 市長
私債権は民間の債権と同様、裁判所の判決等により債務名義が必要となる。この債務名義を得るためには債務者名を明示して議会の承認を得ることとなるが、プライバ

コロナ禍の影響

Q 照井省三 議員
コロナ禍での小中学校児童生徒の自殺、いじめ、不登校、暴力行為の実態について、過去3年間の状況について伺う。

A 教育長
自殺は過去3年間発生していない。不登校は令和元年度小学校19人、中学校78人。令和2年度小学校23人、中学校79人。令和3年度9月までは小学校13人、中学校55人。いじめ認知件数は令和元年度は小学校108件、中学校35件。令和2年度、小学校141件、中学校45件。令和3年度9月までは小学校90件、中学校25件。暴力行為発生件数は令和元年度小学校15件、中学校5件、令和2年度小学校16件、中学校5件、令和3年度9月までは小学校4件、中学校3件である。

産業団地

Q 佐藤 明 議員
花南地区の産業団地整備の進捗状況と供用開始時期について伺う。

A 市長
花南地区の産業団地整備の可能性の検討を昨年度から本格的に実施している。33ヘクタールの土地をA工区、B工区、C工区に3分割し、費用面で優位性のあるB工区が速やかに整備できると期待しているが、今後、埋蔵文化財や各種調査を行う必要がある。供用開始時期については未定。

用途地域

Q 佐藤 明 議員

花巻駅西側の消防署までの南北の道路沿いを第一種住居地域から近隣商業地域に変更する考えはないか伺う。

A 市長

花巻駅西地区の松園町から消防本部までを南北に通る市道材木町・下二枚橋線沿線の用途地域を近隣商業地域に変更することについて、大きな課題はあるものの、今後のまちづくりの方向性を踏まえて変更する必要があるかどうか、あるいは住民の方々の理解が得られるか今後の検討課題と捉えている。

新花巻図書館

Q 阿部一男 議員

新図書館は木造が望まれる。木造はコンクリート造りと比べ、冷暖房効

果や弾力性がよく、経費的に遜色ない上に、地元産材の利活用も期待されるが、市の考えを伺う。

A 市長

市では国の法律に基づき、花巻市公共建築物等木材利用促進基本方針を策定し、林業振興に資するため県産木材の使用に努めてきた。今後の図書館の建築設計の時点において、CLT（直行集成板）による建築コストおよび維持保守費用が鉄筋コンクリート造りと比較し多額でなければ検討の余地があると考えている。

農業政策

Q 近村晴男 議員

大谷翔平選手は花巻東高校時代、一日に丼飯を何杯も食べたといわれる。大谷選手と深い縁のある市として、令和3年の歴史的な活躍を称賛し、花巻産米のPRとし

て、例えば、2021花巻・輝き大賞と副賞に花巻産の銀河のしずく1年分を贈るなどの考えはないか伺う。

A 市長

そのような賞を贈りたいという思いはあり、花巻産の銀河のしずくを食べていただければ大変ありがたいと思う。しかし、大谷選手からは花巻市に様々配慮いただいている。例えば、ユニフォームの展示は花巻東高校の関係者と連絡を密に取り合い、ご厚意によつて展示することができた。市は応援することに徹して、大谷選手にこれ以上のことをこちらから求めるのではなく、今の非常に良い関係を維持することが大切であると考えている。

Q 阿部一男 議員

全農岩手は、令和3年産米の概算金を60kg当たり23000円減の1万円

と20%も減額になると発表した。農家への市の支援を伺う。

A 市長

収入保険への加入促進のため、保険料の2分の1を補助する収入保険加入促進事業として3672万円を、検査米1袋当たり107円を補助する事業等の花巻米生産緊急支援事業に約1億2480万円を補正予算で措置した。また、主食用米から他の作物へ転換した場合、10アール当たり5000円の支援を考えている。

兼業農家支援

Q 久保田彰孝 議員

「農業機械が壊れたら農業をやめる」という兼業農家に対し、農業機械を共同購入できる支援制度の導入について伺う。

A 市長

県のいわて地域農業マ

医療的ケア児支援

Q 菅原ゆかり 議員

重い病気のある兄弟姉妹がいる「きょうだい児」への支援について伺う。

A 市長

きょうだい児に対しての直接的な支援は行っていないが、国や県において対策を検討している状況である。県とも連携を取りながら、支援策があるかどうか関係機関と検討していく。

子宮頸がん予防ワクチン

Q 菅原ゆかり 議員

子宮頸がん予防ワクチンを受けられなかった年代のキャッチアップ制度導入後の市の取り組みについて伺う。

A 市長

平成25年度に16歳に達し、ワクチン接種の機会を逸した平成9年生まれから平成17年生まれまでの9学年を最大に、国では何案か検討していると聞いている。現時点では決定されておらず、本市でも国の制度が明確になった後、県や他市町村の対応状況を踏まえ必要に応じて検討していく。

骨髄移植ドナー支援

Q 照井明子 議員

骨髄移植を必要とする患者に適合したドナーに対して、助成金を新設する考えについて伺う。

A 市長

県では岩手県骨髄ドナー支援事業補助金制度を令和2年度に創設しており、同様の事業を、金ヶ崎町、野田村が実施している。ドナー登録者を継



骨髄バンク登録を呼びかける日本赤十字社のパンフレット

子ども医療費助成

Q 照井明子 議員

所得制限や受給者負担をなくし、18歳までの子ども医療費無料化の実施の考えについて伺う。

A 市長

医療費助成は、国が推進すべきものであるが、国の助成が行われるまでの間、小・中・高校生の助成について将来の市の財政に過度な負担をかけない範囲で令和4年度予算においてさらに拡充することを検討する。まずは所得制限をなくすことを協議していききたい。

新型コロナウイルス感染症対策

Q 照井省三 議員

新型コロナウイルス感染症対策における追加接種（3回目接種）の優先接種の考え方について伺う。



3回目のワクチン接種が始まっています（昨年の集団接種会場）

A 市長

3回目の接種間隔は、2回目接種完了後、原則8カ月以上と国から示されている。12月6日から医療従事者を対象に接種をはじめ、91歳以上は令和4年1月下旬から、75歳〜90歳は2月上旬から、65歳〜74歳は3月上旬から、60歳〜64歳は4月下旬から、18歳〜59歳は5月中旬からを予定している。



スマート農業、体験試乗会

Q 内館 桂 議員

花巻市過疎地域持続的発展計画で優良企業の誘致を推進するとしているがその見通しについて伺う。

A 市長

本市への新規立地を誘引するための支援策を検討している。

大迫・東和地域は山間部が多く平場でまとまった面積の土地を確保できない。企業立地は、交通アクセスの利便性が重要視されることから両地域への新たな企業誘致につなごうとしている。

Q 内館 桂 議員

半世紀前に田瀬地区で大規模な開発を目的として用地取得があったが、令和3年3月に新たな法人に所有権移転された。その目的は何か伺う。

A 市長

新たな法人は、新型コロナウイルス感染症が収まってから現地視察を行い、活用について検討していくとしている。市では新たな法人と随時連絡を取り、情報収集を行っており、現地視察の際には面会の機会をつくっていただき情報交換を重ねていきたい。

花巻市のPR

Q 佐藤 現 議員

花巻市の魅力を全国に発信するため、大谷翔平選手・菊池雄星選手を花巻市のPRに活用できないかと考えるが、これまでの施策と今後の取り組みについて伺う。

A 市長

花巻市にしかない魅力を発信するため、ホームページ、SNS、YouTube等の動画配信、各種イベントで積極的に

PRを行ってきた。大谷・菊池選手を活用したPRは出演料が高額のため困難と考える。今後は継続してホームページ等で花巻市の魅力を発信するほか、花巻の「音」に着目したサウンドプロモーションにより発信することも検討している。



花巻東高校に寄贈されたサイン入りユニフォーム

市民参画条例

Q 櫻井 肇 議員

令和3年6月定例会において全会一致で採択された陳情に係る市民参画条例についての見解および

び条例制定の考えを伺う。

A 市長

担当部署において、市民参画条例の制定に向けて他市の事例や本市がまちづくり基本条例の案を作成した際の経緯の調査を行っている。まちづくり基本条例および現在の市民参画ガイドラインを参考にしながら先進自治体の事例等も検討し、市民の意見を伺った上で議会に提案することを考えている。

デジタル化

Q 藤井幸介 議員

行政手続き等のデジタル化が進んでいくが、スマートフォンなどの機器に不慣れな方に対しての支援体制について伺う。

A 市長

総務省では、誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化の基本方針の下、デジタル活用支援推

原油価格高騰対策

Q 櫻井 肇 議員

原油価格高騰で困難に直面している農業者や工業者への支援を行うことについて考えを伺う。

A 市長

市独自の支援策として主食用米生産者には令和3年度産米用の肥料および令和4年度産米用の肥料の差額の3分の1相当額を補助する水田営農継続緊急支援事業を創設した。中小事業者については、花巻商工会議所が行ったアンケート調査では原油価格高騰に係る支援を求める意見は1事業者にとどまっている。

第7回臨時会

◇令和3年度花巻市一般会計補正予算(第10号)

Q

稲作農業の収入は前年度と比較しどのくらい減ったのか伺う。

A

生産者概算金および各方針作成者の申出数量から試算すると、約12億7000万円の減額である。

Q

肥料代の一部を補助するとのことだが、令和4年度産米用の肥料代の値上げ状況をどのように捉えているか伺う。

A

令和3年5月時点で値上がりするということを聞いていた。生産者が生産意欲を持ちながら営農できるように支援していきたいと考えている。

第8回臨時会

◇令和3年度花巻市一般会計補正予算(第11号)

Q

原油価格高騰対策緊急支援事業は、全ての住民税非課税世帯を対象とするのか伺う。

A

生活保護世帯は冬季加算があるため対象外だが、それ以外の住民税非課税世帯は対象となる。

Q

大迫高校生徒確保対策事業はどのような内容か伺う。

A

学校存続のため大迫高校から相談を受け、制服や検定の費用を補助するもの。県内では、葛巻高校や沼宮内高校などが同様の事業を行っている。

令和3年第7回 第8回臨時会

令和3年第7回および第8回花巻市議会臨時会を開催しました。第7回臨時会では正副議長選挙が行われたほか、令和3年度花巻市一般会計補正予算(第10号)を審議。また、第8回臨時会では令和3年度一般会計補正予算(第11号)について審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

◇令和3年第7回臨時会(10月25日開会)

審議した議案	内 容	審議結果
令和3年度花巻市一般会計補正予算(第10号)	新型コロナウイルス感染症の影響等に伴う主食用米の価格下落、農業生産資材の高騰に対する支援対策経費の追加に伴う歳入歳出予算の補正および繰越明許費の補正 補正額 1 億2,481万円増額 補正後予算額516億2,512万 1 千円	可 決

◇令和3年第8回臨時会(11月18日開会)

審議した議案	内 容	審議結果
令和3年度花巻市一般会計補正予算(第11号)	イーハトーブ花巻応援寄附金の増額に伴う事業費の追加のほか、新型コロナウイルスワクチン接種事業、原油価格高騰対策緊急支援事業等の追加に伴う歳入歳出予算の補正および地方債の補正 補正額 9 億7,294万 5 千円増額 補正後予算額525億9,806万 6 千円	可 決

花巻北高等学校



左から さとう わかな
佐藤 和奏さん
すずき れいな
鈴木 麗奈さん(議長席)
たかはし はなえ
高橋 花笑さん

質問 すずき れいな
鈴木 麗奈さん

花巻市の食や賢治さんと地元企業を絡めてブランド店に匹敵するような有名店にし、観光客を増加させることについて伺う。また、SNSなどを中心とした情報発信の活性化について伺う。

答弁 市 長

本市が持ち合わせている12の温泉群、国定公園早池峰山をはじめとする豊富な自然、わんこそばやワイン等の食を組み合わせた観光コンテンツの造成をすることにより、多くの方に花巻市に訪れていただきたいと考えている。また、教育旅行の目的がSDGsを取り込んだものが選ばれる傾向にあり、賢治さん、自然、食との組み合わせを検討する必要があると考えている。

SNSについては、花巻観光協会が主体となり、ラインやフェイスブック等での情報発信を行っている。さらに、花巻出身者が市民ライターとなりポータルサイト「まきまき花巻」で本市の魅力を発信している。

花巻南高等学校



左から きりやま くるみさん
桐山 くるみさん
なかつか ひらりさん
中塚 ひらりさん
さいとう きせら
斉藤 妃羅さん
よしだ ももこ
吉田 萌々子さん(議長席)

質問 よしだ ももこ
吉田 萌々子さん

花巻市の食品を巡る問題に係る食品ロス対策について伺う。また、花巻市食品ロス削減の推進に関する計画はいつ頃に策定されるのか伺う。

答弁 市 長

市内宿泊施設の関係団体から提出された食品ロス削減対策の要望に対し、フラワーロールちゃんをあしらった「3010運動」の啓発用卓上ポップを宿泊施設および飲食店に配布して会場の場で活用していただいている。食品ロス対策については、まだ周知や理解が浸透していないが、若い世代の皆様にも関心と課題意識が高まってきており、今後の対策を検討したい。

花巻農業高等学校



左から なかしま みさと
中島 生智さん
ふじわら しぶき
藤原 飛輝さん
いずみだ よし乃さん
泉田 よし乃さん
あべ ゆう
阿部 悠さん(議長席)

質問 あべ ゆう
阿部 悠さん

都道府県「愛着度」ランキングにおいて、岩手県は令和元年度の36位から令和2年度は4位に急上昇した。花巻市民が地元で愛着が持てるまちづくりを市民の健康と農業の推進の観点から伺う。

答弁 市 長

本市は北上市、遠野市、西和賀町と共に岩手中部保健医療圏を構成し、県立中部病院を中心に近隣の病院および診療所が連携する体制をつくって市民の健康を守っている。また、スマート農業では東北でも先進地であり、国等の補助事業により農業用ロボットや情報通信技術機器に対し支援を行っている。また、農業に携わる若者の収入確保が重要な課題であり、地元で愛着を持って生活ができるように支援していきたい。

初の高校生議会を開催



一般質問に登壇した花北青雲高等学校 佐藤綾香さん



議長を務めた花巻東高等学校 多田勇仁さん



開会前に全高校生議員を紹介



事前に説明を受ける高校生議員



花巻南高等学校 吉田萌々子さんの一般質問



大迫高等学校 伊藤健太さんの一般質問

花巻市議会議会改革推進会議が企画した高校生議会が令和3年10月27日に行われました。初めての試みではありましたが、市内6校の高校生総勢23人が花巻市議会議場に参集し、花巻市に対し様々な観点で一般質問を行いました。参加した高校生からは、「実際に住んでいる地域の課題を見つけ、市長に訴える機会はないのでいい経験になった。花巻をさらに良くしたいという気持ちがある今回の議会に参加して強くなった」等の感想が寄せられ、関心の高さがうかがわれました。

花巻東高等学校



左から
遠藤 朋城さん
多田 勇仁さん
鈴木 拓さん
市原 青空さん(議長席)

質問 遠藤 朋城さん

市町村によるワクチン接種の進捗状況にばらつきが生じるのはなぜか。また、感染拡大により医療機関や医療従事者の負担が増加すると考えられるが、市の対応を伺う。

答弁 市長

接種の実施主体は市町村であり、体制の整備や実施方法を各自治体で設定する必要があったため、その違いによりばらつきが生じたと考えられる。また、医療機関や医療従事者の負担軽減を図るためには、新たな感染を抑えることが不可欠であり、感染予防物資の提供、PCR検査補助等による感染防止対策を充実することにより、感染の拡大を防ぎ、罹患者を多く出さないことで結果として負担軽減できるよう対策を講じていく。

花北青雲高等学校



左から
星川 天音さん
伊藤 優花さん
佐藤 琴海さん
佐藤 綾香さん(議長席)

質問 佐藤 綾香さん

花巻市に映画館やカフェなどの商業施設を増やすことで、人の行き来が盛んになったり、若者が集まったりして、花巻市を多くの人に知ってもらえるのではないかと。映画館などの商業施設を率先的に誘致・建設すべきだと考えるが所見を伺う。

答弁 市長

新たな図書館整備の一環としてコンサルティング会社に委託し、シネコンを併設することなども視野に入れてヒアリングを行ったが、30万人から40万人以上の商圏人口がないと出店は難しいという回答だった。現在はJR花巻駅東西自由通路(駅橋上化)、新図書館の建設等による市街地の基盤整備を検討しており、市民のご意見をいただきながら事業実施を検討していく。

大迫高等学校



左から
晴山 颯真さん
阿部 湊歩さん
佐藤 将伍さん
伊藤 健太さん(議長席)

質問 伊藤 健太さん

大迫高校は少人数の学校であることから、学校存続のために私たちにできることはないか考えている。市の「まきまき花巻」というサイトを知り、市の魅力が伝わってくる内容に感銘を受けた。そこで、この活動を発展させるため、高校生が市や市民ライターと協働して地域の魅力などを発信することは可能か伺う。

答弁 市長

高校生が市の魅力や地域の伝統などを発信することは、自分の住んでいる地域を知り、地域への愛着を深めるきっかけとなることから、地域活性化にもつながっていくものと考え。「まきまき花巻」の市民ライター登録者数は65人で高校生も活躍している。講座を年に数回開催しており、直接高校に出向いて講座を開設することも可能であることから検討いただき、まずは大迫高校や大迫地域の魅力を発信していただくことから始めていただければと思う。

請願・陳情審査

12月定例会では、総務常任委員会が第12号陳情、文教福祉常任委員会が第6号陳情、第9号請願および第11号請願、議会運営委員会が第10号陳情の審査を行いました。審査の結果、第9号請願は採択、第6号陳情および第10号陳情は不採択すべきものと決しました。また、第11号請願および第12号陳情は継続審査となりました。

第6号陳情(不採択)

社会教育主事の設置及び生涯学習部の教育委員会事務局への移行を求めることについて

本陳情は、令和3年9月定例会及び12月定例会で審査しました。9月定例会の審査において委員からは「当局説明のとおり検証が必要と思われるため、継続審査とするべき」などの意見が出され継続審査としました。

12月定例会の審査において委員からは「陳情項目1は、法律および市の所管事務の都合上、教育委員会の有資格者に社会教育主事を発令できないため、生涯学習部の有資格者に発令したことから課題は解決したと理解する。陳情項目2は、文化・スポーツの事務を生涯学習部が所管するということを認めてきた経緯もあり、当局が引き続き検証を

行うことから、見守ることも大切ではないか」などの意見や「社会教育などの事務を教育委員会から生涯学習部に移管している体制により、様々な課題が出てきているのではないか」などの意見が出されました。

採決した結果、陳情項目1および陳情項目2は賛成少数により不採択すべきとなりました。

第9号請願(採択)

加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的支援制度の創設を求めることについて

審査において委員からは「高齢者のうち加齢性難聴者は多数存在すると推計されるため、国の支援なくして公的支援は不可能ではないか」などといった意見や、「加齢性難聴は認知症やうつ病を発症する引き金にもな

る。公的支援制度の創設により補聴器購入の負担を軽減することとは重要なことだと思われる」などの意見が出されました。

採決した結果、全会一致で採択すべきとなりました。

第10号陳情(不採択)

花巻市議会の議員定数及び報酬等の在り方検討委員会の設置を求めることについて

審査において委員からは「議会基本条例の検証は必要であるが、定数や報酬については議会改革推進会議で検討できるため、検討委員会の設置は必要ない」などといった意見や、「任期が残り約7カ月の中、検討委員会を設置したとしても結論を出すことは困難」などの意見が出されました。

採決した結果、全会一致で不採択となりました。

定例会最終日の本会議で委員長報告を行い、採決を行った結果、それぞれ委員長報告のとおり決しました。

常任委員会等の活動報告

【総務常任委員会】

◇12月3日(金) *副委員長の辞任について
辞任の許可および新副委員長の選出

◇12月10日(金)

*陳情審査 花巻市職員の精神疾患による病気休暇(休職)数の増加の事実調査を求めることについて

◇12月23日(木) *審査結果…継続審査

*陳情審査 花巻市職員の精神疾患による病気休暇(休職)数の増加の事実調査を求めることについて

【文教福祉常任委員会】

◇12月10日(金)

*陳情審査 社会教育主事の設置及び生涯学習部の教育委員会事務局への移行を求めることについて

*請願審査 加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的支援制度の創設を求めることについて

◇12月23日(木) *審査結果…採択

*意見書発議 加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的支援制度の創設を求める意見書

*請願審査 ろうあ者に係る花巻市の関係規則及び要綱の改正を求めることについて

◇1月12日(水) *審査結果…継続審査

*所管事務調査 花巻市内学童クラブの現状及び課題について

【産業建設常任委員会】

◇12月13日(月)

*所管事務調査 中山間地域の活性化について

◇1月14日(金) *所管事務調査 災害公営住宅の管理について

【議会改革推進会議】
◇12月14日(火) *議会改革検討事項について



えんどう ともき
遠藤 朋城さん
(花巻東高校2年)

花巻市の未来へ ちょっと一言。



ただ まゆみ
多田 真弓さん
(南城)

花巻での生活のしやすさ

どうすれば花巻市に住む全ての人々の生活のしやすさが向上するのか。私は公共交通機関が整備されることを希望します。

私は、普段、花巻東高校に駅から自転車通勤しています。大雨や雪の日にはバスを利用します。バスは本数が少なく、朝早く登校する際は乗ることができません。

また、学生だけでなく、車を持たない市民の方々も公共交通機関を利用しやすくなり、生活が便利になると考えます。

生活しやすい花巻市の実現のために、今一度、公共交通機関の整備を考えていただければ幸いです。

※遠藤さんは高校生議会に参加しました

子育てしやすい花巻に

花巻で岩手初の学生服リユースショップを開業したり、子育て家庭支援団体コッチャコを設立してひとり親家庭向けフードパントリーを開催したりしています。

これらの活動は近隣の市町村にはなく、市外からもたくさんの方々に利用されています。

花巻がもつと子育て

しやすい場所になればいいなと考え、今後は不登校児の居場所支援を考えています。

この地域でも核家族化が進む中で、困っているお父さんお母さん、子どもたちが孤立しないように、花巻が誰一人取り残さない社会になるように、市民連携して子育て家庭を支えていくことを願っています。

議会中継をスマホ・PCで視聴できます！

議会を傍聴に来られない方は、お持ちのスマートフォン・タブレットやパソコンからリアルタイム視聴ができるほか、録画配信もしています。

また、えふえむ花巻 FM78.7MHz では後日、録音した一般質問の音声を放送しています。

議会傍聴にぜひお越しを！

【12月定例会】

本会議の傍聴に訪れた方の延べ人数 34人

【3月定例会】

2月25日(金)開会

詳しい日程は、議会事務局までお問い合わせいただくか市議会のホームページをご覧ください。

議会事務局 0198-41-3598 (直通)

【広報広聴特別委員会】

委員長	瀬川 義光
副委員長	藤井 幸介
委員	久保田 彰孝
委員	羽山 るみ子
委員	佐藤 峰樹
委員	佐藤 現
委員	伊藤 盛幸
委員	若柳 良明
委員	盛岡 耕市

1月8日に2年ぶりとなる成人式が花巻市総合体育館で開催され、新成人の楽しそうな顔を久しぶりに見ることができました。また、1月9日には2年ぶりの消防出初式が花巻市文化会館で開催され、通常の生活に戻るかと思われましたが、「岩手警戒宣言」が出されたことから自粛の日々が続くものと予想されます。市における新型コロナウイルスワクチンの2回目接種状況は、予約された方はほぼ接種を終えました。全国の感染者が激減し経済が回復すると思われていましたが、今度はオミクロン株の発生により第6波の感染拡大が懸念されます。医療従事者へは3回目のワクチン接種が始まっていますが、早く市民が3回目の接種を終え、安心して通常の生活ができることを期待しています。

(佐藤 現)

編集後記